



平成 29 年 9 月 27 日  
附属病院 総務課  
附属市民総合医療センター総務課

### 平成 28 年度の医療安全管理の取組について

公立大学法人横浜市立大学附属病院（金沢区福浦 3-9 病院長 相原 道子 病床数 674 床）及び附属市民総合医療センター（南区浦舟町 4-57 病院長 後藤 隆久 病床数 726 床）の「平成 28 年度の医療安全管理の取組について」は、別途資料のとおりです。

#### 【参考】

○ 過去 5 年間の即時公表事例の件数

年 度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
附属病院	0 件	1 件※	0 件	0 件	0 件
センター病院	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

※H25. 4. 30（記者発表）：栄養チューブの詰まりを開通するために濃度の高い酢酸液を注入したことによる医療事故について

○ 過去 5 年間の一括公表事例の件数

年 度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
附属病院	1 件	1 件	1 件	0 件	0 件
センター病院	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件

○ 過去 5 年間のインシデント報告数

年 度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
附属病院	5,443 件	5,521 件	5,490 件	5,496 件	5,008 件
センター病院	6,651 件	7,668 件	7,788 件	7,671 件	8,029 件

インシデント…医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験を有する事例で、医療事故には至らなかった場合をさす。



お問い合わせ先		
附属病院 総務課長	増田 政博	Tel 045-787-2804
附属市民総合医療センター 総務課長	齋藤 龍也	Tel 045-253-5302

## 平成28年度の医療安全管理の取組について

平成29年9月27日

公立大学法人横浜市立大学

附属病院

附属市民総合医療センター

## 目 次

■ 医療事故公表判定基準等	.....	1
I インシデント報告の状況	.....	3
II 入院患者アンケート調査結果	.....	5
III 主な改善検討事例	.....	7

(参考) 資料中での病院名の正式名称は次のとおりです。

附属病院 : 横浜市立大学附属病院

センター病院 : 横浜市立大学附属市民総合医療センター

## 医療事故の公表について

平成13年 2月16日 制定

平成29年 9月27日 改正

横浜市立大学附属病院及び同市民総合医療センター（以下「附属2病院」といいます。）は、平成11年1月の患者取り違え事故をはじめ、平成25年4月の酢酸の誤注入事故など、これまでに引き起こした医療事故の反省の上に立って、病院を挙げて医療安全管理対策を推進してきました。

横浜市立大学では、医療事故が発生した際には、その情報を公表することによって病院運営の透明性を高めることが、信頼を回復するために重要であると考え、平成12年8月に医療事故公表基準作成特別委員会を設置し、附属2病院における医療事故の公表についての考え方をとりまとめました。それに基づき、平成13年度からは、事務系責任職、附属2病院統括安全管理者、外部有識者等で構成する「医療事故公表判定委員会」にて、医療事故の公表についての審議を行い、公表を行ってきました。

その後、医療法改正による院内報告制度の義務化、日本医療機能評価機構が行う医療事故情報収集等事業の整備、医療事故調査制度の開始などにより、本学が独自の基準を持って医療事故の公表の判断を行う必要性は徐々に無くなってきました。そのため、平成28年度をもって医療事故公表判定委員会は解消し、附属2病院は「国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針」に準拠した基準に基づき、院内で公表に関する判断を行うこととなりました。その上で、院内での公表判断の適切性を、新たに設置した外部有識者等による「横浜市立大学附属2病院監査委員会」が監査することとしました。

### 1 医療事故の公表の意義

医療事故を公表することには、次のような意義があるものと考えます。

- (1) 医療事故の事実や改善策を院内だけでなく他の医療機関と共有することにより、類似の医療事故の再発を広く防止することができる。
- (2) 適切な判断基準を持って公表を行うことは、医療の透明性を高め、市民からの信頼性の向上を図ることができる。

### 2 用語の定義

本報告において使用する用語の定義は、次のとおりです。

#### (1) 医療事故

- ① 誤った医療又は管理を行ったことが明らかであり、その行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例。
- ② 誤った医療又は管理を行ったことは明らかでないが、行った医療又は管理に起因して、患者が死亡し、若しくは患者に心身の障害が残った事例又は予期しなかった、若しくは予期していたものを上回る処置その他の治療を要した事例（行った医療又は管理に起因すると疑われるものを含み、当該事例の発生を予期しなかったものに限る）。

## (2) インシデント事例

- ① 医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例。
- ② 誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例又は軽微な処置・治療を要した事例。ただし、軽微な処置・治療とは、消毒、湿布、鎮痛剤投与等とする。
- ③ 誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例。

## 3 医療事故の公表基準

附属2病院は、次の基準該当する医療事故が発生した場合には、患者さんと御家族の同意のもとに、これを公表します。

- (1) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、それが死因となった場合、若しくは「永続的な障害や後遺症が残る」など、患者さんに相当の有害な結果を生じた場合には即時に公表する。
- (2) 医療事故のうち、「明らかに誤った医療行為あるいは管理」に起因し、濃厚な処置や治療を要した場合には、一括して個別事例を公表する。

上記以外の医療事故は公益財団法人日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。なお、インシデント事例は包括した形で件数等を一括して公表し、原則として個別事例は公表しませんが、医療に係る事故の発生の予防及び再発の防止に資すると考えられる警鐘的な事例は日本医療機能評価機構への報告を通じて公表します。

## 4 医療事故の公表の判断・判定について

医療事故の公表の判断・判定に関しては、上記の基準をもとに、各病院における会議体で検討し、最終的に病院長が判断します。附属病院では院内医療事故会議（事例検証会議）、センター病院では院内事例検証会議にて検討を行っています。

なお、これらの会議による検討経過、病院長の判断等の一連の事務については外部有識者等による「横浜市立大学附属2病院監査委員会」の監査を受けることとなります。

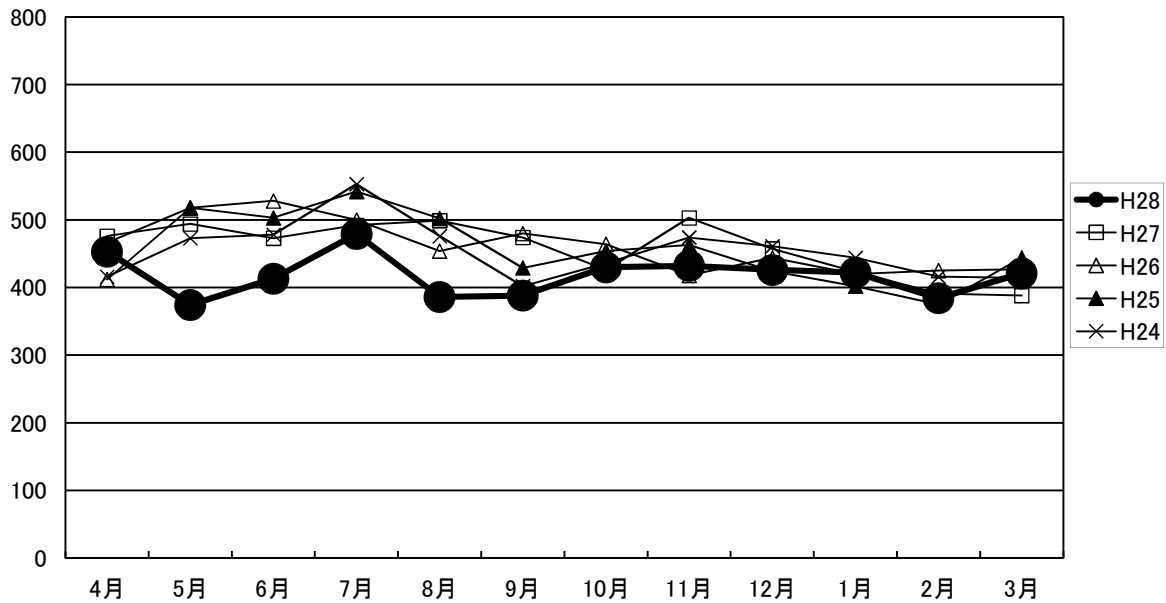
## 5 公表及び公表内容についての患者さん及び御家族の同意について

医療事故を報道機関等へ公表する際には、個人情報保護の観点から「報道機関等への公表について」による確認を行います。

I インシデント報告の状況（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1 附属病院

(1) インシデント報告の月別件数



(2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数		月平均		構成比		提出率		職員数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
医師	202	187	16.8	15.6	4.0%	3.4%	6.6%	6.1%	255	256
看護師	4,351	4,777	362.6	398.1	86.9%	86.9%	50.7%	55.4%	715	719
コ・メディカル	429	489	35.8	40.8	8.6%	8.9%	19.1%	21.9%	187	186
事務・その他	26	43	2.2	3.6	0.5%	0.8%	3.4%	5.4%	64	67
合計	5,008	5,496	417.3	458.0	100.0%	100.0%	34.2%	37.3%	1,221	1,228

※ 職員数は28年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

(3) インシデント報告の事象別内訳

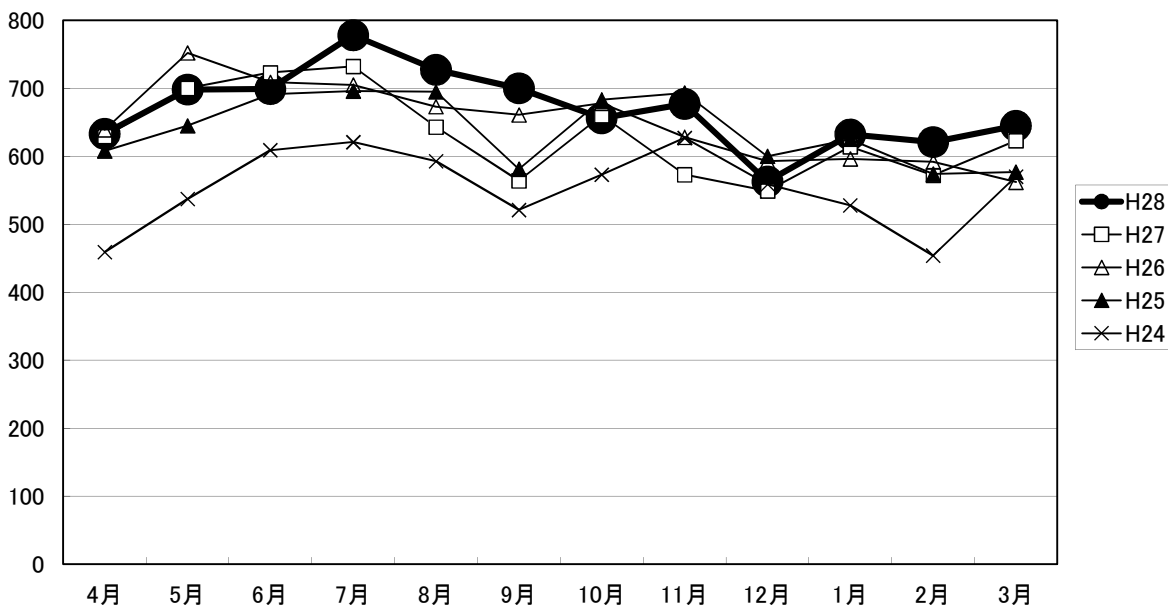
事象	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
薬剤	1,724	1,927	143.7	160.6	34.4%	35.1%
輸血	56	74	4.7	6.2	1.1%	1.3%
治療・処置	203	284	16.9	23.7	4.1%	5.2%
医療機器等	166	203	13.8	16.9	3.3%	3.7%
ドレーン・チューブ	918	974	76.5	81.2	18.3%	17.7%
検査	509	568	42.4	47.3	10.2%	10.3%
療養上の世話	826	769	68.8	64.1	16.5%	14.0%
(うち転倒・転落)	445	477	37.1	39.8	8.9%	8.7%
その他	606	697	50.5	58.1	12.1%	12.7%
合計	5,008	5,496	417.3	458.0	100.0%	100.0%

(4) インシデント報告の場所別内訳

場所	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
病室	3,070	3,053	255.8	254.4	61.3%	55.5%
病棟処置室	42	28	3.5	2.3	0.8%	0.5%
廊下	94	106	7.8	8.8	1.9%	1.9%
トイレ	101	116	8.4	9.7	2.0%	2.1%
浴室	22	28	1.8	2.3	0.4%	0.5%
外来診察室・処置室	173	277	14.4	23.1	3.5%	5.0%
外来待合室	28	33	2.3	2.8	0.6%	0.6%
手術室	255	426	21.3	35.5	5.1%	7.8%
検査室	328	290	27.3	24.2	6.5%	5.3%
訓練室	11	3	0.9	0.3	0.2%	0.1%
薬剤部	76	69	6.3	5.8	1.5%	1.3%
ナースステーション	473	536	39.4	44.7	9.4%	9.8%
その他	335	531	27.9	44.3	6.7%	9.7%
合計	5,008	5,496	417.3	458.0	100.0%	100.0%

## 2 センター病院

### (1) インシデント報告の月別件数



### (2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数		月平均		構成比		提出率		職員数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
医師	306	274	25.5	22.8	3.8%	3.6%	13.7%	10.9%	187	193
看護師	7,191	6,967	599.3	580.6	89.6%	90.8%	65.0%	63.1%	922	905
コ・メディカル	518	400	43.2	33.3	6.5%	5.2%	21.4%	14.6%	202	193
事務・その他	14	30	1.2	2.5	0.2%	0.4%	2.0%	19.5%	60	58
合計	8,029	7,671	669.1	639.3	100.0%	100.0%	48.8%	46.8%	1,371	1,349

※ 職員数は28年度の月平均現在員数

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

### (3) インシデント報告の事象別内訳

事象	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
薬剤	3,064	2,870	255.3	239.2	38.2%	37.4%
輸血	45	58	3.8	4.8	0.6%	0.8%
治療・処置	499	497	41.6	41.4	6.2%	6.5%
医療機器等	225	197	18.8	16.4	2.8%	2.6%
ドレーン・チューブ	1,366	1,357	113.8	113.1	17.0%	17.7%
検査	664	591	55.3	49.3	8.3%	7.7%
療養上の世話	817	811	68.1	67.6	10.2%	10.6%
(うち転倒・転落)	529	531	44.1	44.3	6.6%	6.9%
その他	1,349	1,290	112.4	107.5	16.8%	16.8%
合計	8,029	7,671	669.1	639.3	100.0%	100.0%

### (4) インシデント報告の場所別内訳

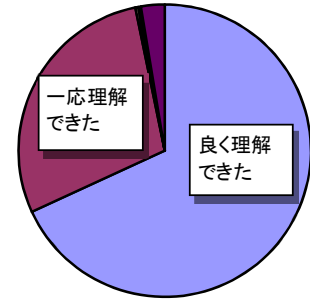
場所	件数		月平均		構成比	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
病室	5,484	5,326	457.0	443.8	68.3%	69.4%
病棟処置室	51	42	4.3	3.5	0.6%	0.5%
廊下	83	94	6.9	7.8	1.0%	1.2%
トイレ	112	87	9.3	7.3	1.4%	1.1%
浴室	31	37	2.6	3.1	0.4%	0.5%
外来診察室・処置室	173	192	14.4	16.0	2.2%	2.5%
外来待合室	17	21	1.4	1.8	0.2%	0.3%
手術室	262	260	21.8	21.7	3.3%	3.4%
検査室	376	279	31.3	23.3	4.7%	3.6%
訓練室	11	7	0.9	0.6	0.1%	0.1%
薬剤部	92	93	7.7	7.8	1.1%	1.2%
ナースステーション	841	744	70.1	62.0	10.5%	9.7%
その他	496	489	41.3	40.8	6.2%	6.4%
合計	8,029	7,671	669.1	639.3	100.0%	100.0%

## Ⅱ 入院患者アンケート調査結果（平成28年4月～平成29年3月）

### 1 附属病院

設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

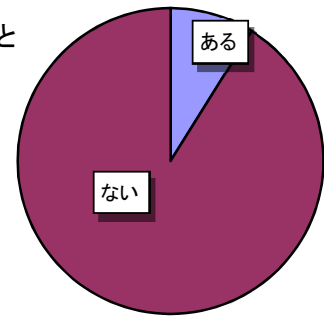
	28年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
良く理解できた	445	68.1%	67.9%
一応理解できた	187	28.6%	30.1%
余り理解できなかった	2	0.3%	0.4%
全く理解できなかった	2	0.3%	0.0%
その他	17	2.6%	1.6%
合計	653	100.0%	100.0%



設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

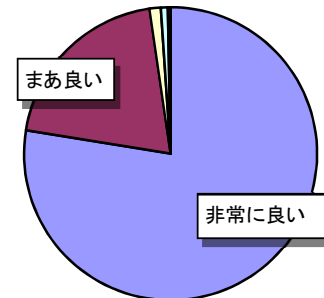
	28年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
ある(※)	58	8.9%	11.4%
ない	596	91.1%	88.6%
合計	654	100.0%	100.0%

(※) 代表的な事例：看護師間の申し送りが不十分である事例、治療・検査・処置等に関する説明が不足している事例



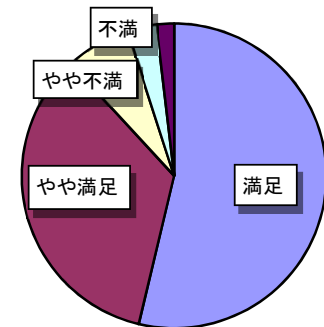
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	28年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
非常に良い	505	77.6%	73.7%
まあ良い	131	20.1%	24.4%
やや悪い	8	1.2%	1.1%
非常に悪い	5	0.8%	0.6%
分からない	2	0.3%	0.1%
合計	651	100.0%	100.0%



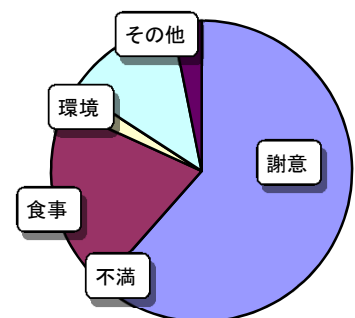
設問4 病室、トイレ、ディルーム、食事など療養環境について

	28年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
満足	345	53.7%	52.6%
やや満足	221	34.4%	33.5%
やや不満	44	6.9%	8.8%
不満	20	3.1%	3.0%
なんとも言えない	12	1.9%	2.1%
合計	642	100.0%	100.0%



設問5 その他の意見

	28年度（4～3月）合計		昨年度 比率
	回答数（件）	比率	
医師、看護師等に対する謝意	551	61.5%	58.7%
医師、看護師等に対する不満	182	20.3%	17.8%
食事に関する要望	21	2.3%	3.8%
環境整備に関する要望	114	12.7%	11.6%
その他	28	3.1%	8.1%
合計	896	100.0%	100.0%

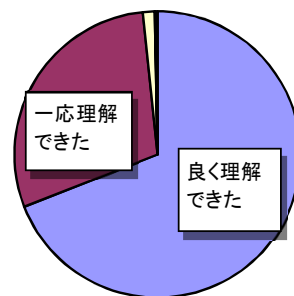




## 2 センター病院

### 設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

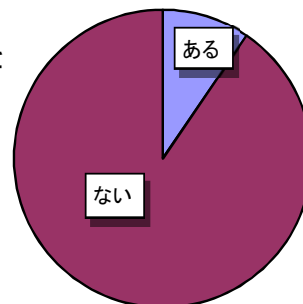
	28年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
良く理解できた	846	69.1%	69.9%
一応理解できた	359	29.3%	28.6%
余り理解できなかった	16	1.3%	1.2%
全く理解できなかった	1	0.1%	0.1%
その他	3	0.2%	0.3%
合計	1,225	100.0%	100.0%



### 設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われること、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

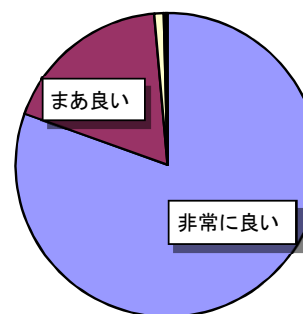
	28年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
ある(※)	107	9.5%	13.1%
ない	1,017	90.5%	86.9%
合計	1,124	100.0%	100.0%

(※) 代表的な事例：点滴・注射における技術不足、手術や検査内容に関する説明不足、清掃や衛生面の不満



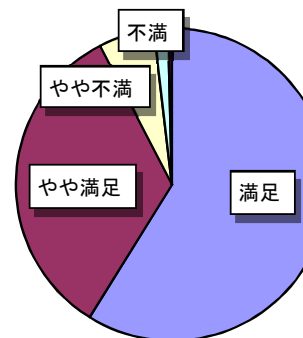
### 設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	28年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
非常に良い	993	80.5%	76.9%
まあ良い	224	18.2%	20.6%
やや悪い	12	1.0%	1.6%
非常に悪い	3	0.2%	0.4%
分からない	2	0.3%	0.5%
合計	1,234	100.0%	100.0%



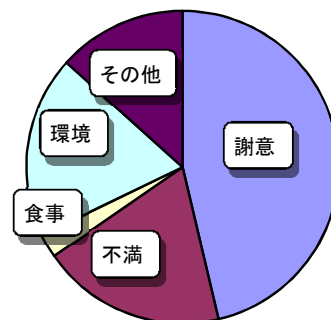
### 設問4 病室、トイレ、ディルーム、食事など療養環境について

	28年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
満足	718	58.9%	59.5%
やや満足	409	33.6%	32.0%
やや不満	70	5.7%	6.2%
不満	18	1.5%	2.0%
なんとも言えない	5	0.3%	0.4%
合計	1,220	100.0%	100.0%



### 設問5 その他の意見

	28年度(4~3月)合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
医師、看護師等に対する謝意	531	46.3%	46.0%
医師、看護師等に対する不満	219	19.1%	19.0%
食事に関する要望	28	2.4%	1.4%
環境整備に関する要望	216	18.9%	19.3%
その他	153	13.3%	14.3%
合計	1,147	100.0%	100.0%



### Ⅲ 主な改善検討事例

#### 1 附属病院

	検討項目	改善検討内容
1	カリウム吸着フィルターの誤使用防止	カリウム除去フィルターの使用に関するインシデント事例が報告されたことから、院内のマニュアルを見直した。その結果、使用可能な部門を手術室および集中治療室に限定するよう運用を変更した（医療安全マニュアル改正）。また、払い出し時に添付している注意喚起用紙を目立つデザインに変更するとともに、メーカーに対して製品本体に注意喚起を表示するように要望した。
2	使用済み酸素ボンベの誤使用防止	赤色のスタンドを使用済み酸素ボンベ専用とすることで、使用中のボンベと明確に区別して保管する院内ルールを定め、各部署に周知した。
3	CVの超音波ガイド下穿刺用セットの誤認防止	エコーガイド下の穿刺に使用可能なセットと不可能なセットを区別するため、マイクロニードルタイプのセットに「超音波ガイド下挿入専用」シールを貼付して払い出す運用に変更した。
4	手術室以外でのガーゼ等の意図しない体内遺残の防止対策の見直し	従来の医療安全マニュアルでは、ガーゼ等の挿入時、抜去時の診療録への記載に関して規定されていなかった。そのため挿入時および抜去時は診療録にその枚数を記載するよう医療安全マニュアルに追記した。また、創部と体内（鼻腔等）を区別した記載に変更した。
5	胃管挿入後の先端位置確認方法の変更	当院のマニュアルでは胃管の先端位置の確認方法の1つとして、空気を注入し心窩部が最強点の水泡音を聴取することになっていたが、1点での水泡音確認は誤認が多いため信頼度が低いとされている。そのため信頼度が高いとされている①右下肺野・②左下肺野・③心窩部の3点で聴取し、③心窩部で最強音が聴取されることを確認するようにマニュアルを改正した。
6	インフォームド・コンセントの標準化	新たに「説明と同意に関するガイドライン」を作成し、インフォームド・コンセントの実施方法を標準化できるよう整備した。また、説明と同意に係る統括責任者として統括安全管理者（副病院長）を配置した。
7	病理報告書の確認忘れ防止対策	他施設で病理結果報告書の確認忘れにより悪性腫瘍の診断が遅れた事例が報告されたため、確認忘れの防止対策を検討した。平成28年12月より電子カルテ上の病理報告書に「レポートチェック」ボタンを表示し、報告書を確認した医師がチェックする運用を開始した。また、チェックされていない報告書については、病理部からオーダー医師へ問い合わせしている。
8	院内医療機器に使用するテーブルタップの統一	電源コードを差し込む際に、隣接するテーブルタップのアース線を巻き込み火花、煙が発生した事例が報告された。そのため医療機器安全管理責任者を中心に、院内におけるテーブルタップの使用状況を調査し、医療機器に使用するテーブルタップは全てアース線がない3Pプラグの製品に切り替えた。
9	造影剤アレルギーの報告体制の強化	造影剤投与によるアレルギーが発生した際に、放射線部から薬剤部へ速やか且つ簡便に報告できるよう新規に「造影剤副作用報告書」を作成した。提出された「造影剤副作用報告書」をもとに薬剤部医薬品情報室担当が詳細を確認して、医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に則ったPMDAへの報告の必要性を判断し報告する体制を整備した。
10	院内で採用しているシリンジキャップの見直し	シリンジキャップが付いた状態でルートを接続したインシデントが発生したため、院内採用のシリンジキャップをルートに接続することができない構造の製品に統一した。
11	ベッドボードの患者名表示の統一	ベッドボードの患者名表示が部署により異なっていたため、電子カルテから発行するネームシールを変更するとともに、マグネットシートを使用した院内統一の表示方法に変更した。
12	やむを得ず口頭指示する場合の手順の明確化	原則、口頭指示は行わないことになっているが、やむを得ず口頭指示を受ける場合には、「口頭指示票」を用いて引継ぎ等を行うよう手順を明確化して、医療安全マニュアル追記した。

	検討項目	改善検討内容
13	採血室で使用する止血帯の種類変更	採血室で使用する止血帯にラテックスが含有されていたため、ラテックスアレルギー患者に使用して膨疹が出現した事例が報告された。そのため採血室で使用する止血帯はラテックフリーの製品に変更した。
14	身体抑制マニュアルの更新	従来からある医療安全マニュアルの「行動制限（身体抑制と隔離）について」の項をもとに、身体抑制の基本的考え方を整理し、定義・適応基準を明記した。また、身体抑制の説明・同意書についての新たな基準を作成した。
15	抗凝固薬・抗血小板薬の手術前休薬期間の目安の一覧更新	新規経口抗凝固薬（NOAC）を含めた一覧に更新するとともに、現状の院内採用・未採用区分にあわせて表記を変更した。
16	医薬品安全管理体制の強化	①院内で使用される禁忌・適応外医薬品に関する情報を剤部医薬品情報管理室に集約、②禁忌医薬品の使用は疾患・アレルギー歴に対する禁忌と併用禁忌に分類し、適応外医薬品の使用は4段階の評価基準を作成し評価、③それらの結果は安全管理対策委員会へ報告して院内で共有する体制を整備した。
17	「入院鎮静患者の退室確認書」使用を義務化	検査・処置実施時に鎮静を行った患者を一般病棟に帰室させる際には、医師が「入院鎮静患者の退室確認書」に沿って退室の判断を行うこととした。また、一定の要件を満たさない患者については呼気ガスモニターの装着を義務付けた。
18	CVC研修の見直し、研修医の承認要件変更	指導医の下で臨床研修医が中心静脈カテーテル挿入を行う条件として、①講習会受講、②シミュレーターを用いた実習、③実際の挿入の3回以上の見学を義務付けている。従来は①②終了時にCVCシールを発行していたが、①②③すべて実施後にCVCシールを発行するように改め、研修医が要件を満たしているか現場で確認しやすようにした。

## 2 センター病院

	検討項目	改善検討内容
1	診療科部長とリスクマネジャー、統括安全管理者・安全管理室との個別面談実施	各診療科と個別面談を実施し、医療安全について診療科部長とリスクマネジャーで役割を再確認した。今年度は病棟師長等も同席し、抱えている課題について相互に情報共有できるような環境を整えた。
2	ラピッドレスポンスチーム (RRS)に関する検討開始	ドクターコールとなる前の急変予知となるRRS導入について、リスクマネジャー会議内のグループワークで検討を開始した。他大学への見学・勉強会参加を行い、システム上当院での導入は可能ではないかとの結論を得た。継続して次年度以降も取り組んでいくこととなった。
3	DNARについて多職種で検討する機会創出	DNAR (Do Not Attempt Resuscitate)のありかたについて、リスクマネジャー会議内のグループワークにて検討機会を設けた。多職種で協議を行い、診療科・部署によって認識が多岐にわたることが判明した。継続して検討を行っていく。
4	院内緊急安全情報の作成と配布	確認不足によるインシデント事例が、いくつかの部署から報告されたことを受けて、院内緊急安全情報を作成し、部署に配布した。
5	患者カルテ画面を閉じた際の参照画面の連動終了について	電子カルテ上、部門システム（画像など）の参照画面を患者カルテ画面の終了と連動して閉じるよう、システム担当と協働して設定した。
6	内視鏡室での処置前タイムアウトの実施	手技や鎮静など、手術により近い状況で行っている内視鏡室での検査・処置について、処置前タイムアウトの方法を多職種で検討し、実施を開始した。
7	業務改善報告書の提出	業務改善報告書について、診療科と中央部門を主に対象としてリスクマネジャーと協議しながら作成した。
8	非常勤医師に対するe-learning受講対応	当院では医療安全研修を原則としてe-learningで行っているが、非常勤の医師についても受講ができるような環境を、職員研修委員会と協議して整えた。今年度は196名を対象に実施した。
9	レジメンパラメータ入力画面の変更について	化学療法で使用するカルボプラチンに対する腎機能（GFR）の入力画面を変更した。使用していない補正算出式削除や入力枠に注釈を加えた。
10	医薬品の保管管理に関する文書の作成と周知	他院での異物混入事件発生を受け、厚生労働省医政局総発の通知文を職員全体に配信した。併せて、院内掲示用ポスターを作成し、医薬品が定数保管されている箇所に貼付し周知を行った。
11	情報伝達に関する注意喚起ポスター作成	インシデント事例から、確認・復唱などの情報伝達を行うよう注意喚起目的のポスターを作成し、貼付・配信を行った。
12	妊婦手術時における胎児心拍確認開始と手順策定	帝王切開術を除く妊婦の手術において、原則として産科医師が術前術後で胎児心拍確認を行うこととした。手術時の安全チェックリストを一部改訂、かつ当直体制表に連絡先を記載した。
13	チーム医療研修の開催	チーム医療研修としてTeam STEPPS研修を2年前から導入し、今年度は3回行なった。そのほか12月に看護部と協働して、「多職種協働研修」を開催した。
14	禁忌等情報の入力についての周知確認	電子カルテ上、禁忌等情報入力のルールについて、確認・再周知の目的で、職員一斉通知を発出した。

	検討項目	改善検討内容
15	手術映像記録の利用ルール策定	全手術室術場・術野映像記録の導入に際し、映像保存基準を検討し策定した。また、手術部門運営委員会と協働して、手術映像保存依頼書を作成し、映像保存依頼の流れや保管期限等についても定めた。
16	医療安全推進週間での部署スローガン作成と優秀賞表彰	医療安全推進週間にあわせて、部署でのスローガン作成をリスクマネジャー会議で依頼した。作成されたスローガンについて同会議で投票を行い優秀賞を選出し表彰を行った。
17	ソフト凝固モードで電気メスを使用する際の対極板選択	術後に対極板貼付部に熱傷が生じた事例を受けて、電気メスでソフト凝固モードを使用する際には面積が広い対極板を試験導入することとした。
18	電気メスの取り扱いに関するe-learningコンテンツ配信	電気メスで職員がうけた電撃症事例をもとに、臨床工学技士と協働して作成した。手術にかかわる職員を対象として実施した。
19	病理検査結果の参照漏れ防止策作成	病理結果の参照漏れを防止するため、電子カルテ上の病理結果画面に「参照確認ボタン」を設置した。結果を確認したスタッフ医師がボタンを押下することで結果の既読・未読がシステムの的に把握できるようになった。
20	外来会計の流れと患者確認方法の見直し提案	外来会計部門での会計フローと患者確認方法について確認を行い、患者参加型の本人確認方法について提案を行った。
21	リスクマネジャー会議の活用方法検討	報告や周知など、安全管理室側からの一方向の発信ではなく、双方向での意見交換や、いわゆる「グッジョブ」な取り組みを意図的に紹介する取り組みを行った。
22	病理カセット用印字機導入	他院での報道事例を受け、当院病理検体の流れを確認した。標本作成までの検体取り違えを回避する手段の1つとして、カセット用の印字機導入を行った。

# 参 考 資 料

(平成 29 年 9 月 27 日)

1 医療安全管理体制	.....	1
2 安全管理対策委員会開催状況	.....	3
3 リスクマネジャー会議の活動状況	.....	8
4 安全管理研修の開催状況	.....	13

## 1 医療安全管理体制

### 医療安全管理の組織体制

#### ○統括安全管理者

副病院長の内の1名を任命し、病院における医療安全管理の推進、情報の収集・分析・評価等、医療安全管理活動の推進責任者として位置付けています。

#### ○安全管理指導者

統括安全管理者を補佐して、病院の医療安全管理全般にわたる指導、改善指示、職員研修の企画等を行う職として「安全管理指導者」を置き、「医療安全・医療管理学」准教授（附属病院）、「医療安全管理学」准教授（センター病院）をあてております。安全管理指導者は、医療安全管理学の学生教育も行っています。

#### ○安全管理者（リスクマネジャー）

医療安全管理に関する職場点検、業務改善、教育・指導、事故発生時の対応及び報告等を行うため、各病院の「医療安全管理室」に安全管理担当課長または担当係長を2名（看護師、薬剤師）配置しているほか、診療部門・看護部門等の各部門に安全管理者（リスクマネジャー）を配置しています。

### 安全管理の推進のための委員会活動

#### ○安全管理対策委員会

統括安全管理者を委員長として、病院の医療安全管理活動を推進する中心として活動しており、インシデント報告の検討、改善策の検討と評価、医療安全管理の情報収集等を行っています。

#### ○リスクマネジャー会議

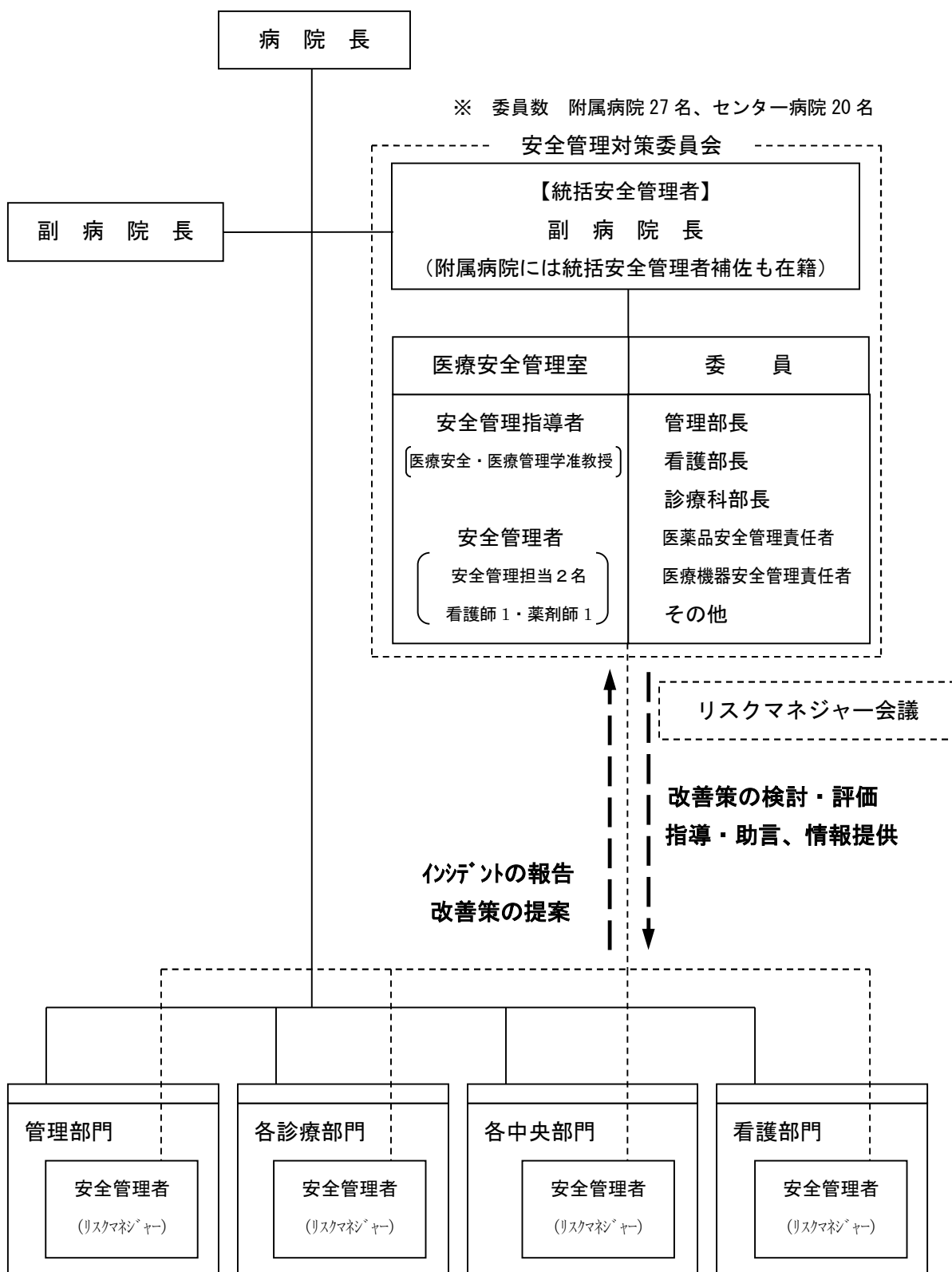
インシデント事例についての検討、各部署の取組の紹介、改善策の周知、「事故予防マニュアル」の作成、医療安全管理の情報提供等を行い、職員の安全管理意識を高める場としています。

### インシデント報告システム

病院の日常業務の中で、医療事故につながりかねない「ヒヤリ、ハット」したできごと（インシデント）を医療従事者が自主的に報告し、その情報をもとに、事故を未然に防ぐための改善策を確立するシステムです。

報告は、各部門のリスクマネジャーから医療安全管理室に報告され、安全管理対策委員会とリスクマネジャー会議を通じて改善策の検討と周知などを行っています。

# 市立大学附属2病院 安全管理体制図



※ 各部門のリスクマネジャー 附属病院 73 名、センター病院 81 名  
(委員等の人数は平成 29 年 4 月 1 日現在)



## 2 安全管理対策委員会の活動状況

### 附属病院

開催日		主な議題
第1回	4/25	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成27年度 第12回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>2 今年度の医療安全体制について</li> <li>3 医療安全に関する研修について</li> <li>4 今年度のRM会議について</li> <li>5 医療関連ニュースについて</li> <li>6 事例報告</li> <li>7 中心静脈穿刺全数調査について</li> <li>8 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>9 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>10 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>11 インシデント集計報告</li> <li>12 患者基本情報 入力状況報告</li> <li>13 リスクマネジャーへの月次配布物について</li> <li>14 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について</li> <li>15 医療安全マニュアル改正について</li> </ol>
第2回	5/23	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度 第1回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 事例報告</li> <li>5 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>6 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>7 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>8 1～3月までのインシデント件数報告</li> <li>9 インシデントレポートの項目変更について</li> <li>10 リスクマネジャーへの月次配布物について</li> <li>11 医療安全情報No. 114 「抗凝固剤・抗血小板剤の再開忘れ」</li> <li>12 化学療法センターで使用する閉鎖式ルートについて</li> </ol>
第3回	6/27	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全管理対策委員会 委員変更について</li> <li>2 平成28年度 第2回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>3 医療安全に関する研修について</li> <li>4 医療関連ニュースについて</li> <li>5 事例報告</li> <li>6 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>7 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>8 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>9 医療事故調査・支援センターへの報告事例について</li> <li>10 レベル3b以上の事象が生じた場合の組織体制について</li> <li>11 医療安全対策に関する部門内業務改善計画書について</li> <li>12 医療安全マニュアルの更新について</li> <li>13 中心静脈カテーテル挿入と管理マニュアルについて</li> <li>14 リスクマネジャーへの月次配布物について</li> <li>15 医療安全情報</li> <li>16 医療安全マニュアルの変更について</li> <li>17 説明と同意（インフォームド・コンセント）に関するガイドライン（案）</li> </ol>
第4回	7/25	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度 第3回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について</li> <li>4 医療関連ニュースについて</li> <li>5 事例報告</li> <li>6 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>7 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>8 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>9 リスクマネジャーへの月次配布物について</li> <li>10 医療安全情報 No. 116</li> <li>11 リスクマネジャーによる医療安全巡回について</li> <li>12 外来化学療法室 閉鎖式器具検証報告</li> <li>13 医療事故調査委員会（8/16）、事例検証会議（8/31）の開催について</li> <li>14 医療安全管理指針・医療安全マニュアルの改正について</li> <li>15 医薬品の安全使用のための業務手順書第11版の変更内容について</li> </ol>

開催日		主な議題
第5回	8/22	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度 第4回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療事故調査委員会について</li> <li>4 医療関連ニュースについて</li> <li>5 事例報告</li> <li>6 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>7 薬剤部からの報告</li> <li>8 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>9 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>10 4~6月までのインシデント報告</li> <li>11 中心静脈穿刺全数調査について</li> <li>12 胃管挿入時位置確認について</li> <li>13 医療安全情報 No.117</li> <li>14 リスクマネジャー院内巡視について</li> <li>15 末梢静脈ルートの生食ロックの試験的導入</li> <li>16 医療安全マニュアル改正について</li> </ol>
第6回	9/26	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度 第5回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 事例報告</li> <li>5 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>6 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>7 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>8 リスクマネジャー院内巡視結果</li> <li>9 名古屋市大病院とのピアレビュー結果</li> <li>10 リスクマネジャーへの月次配布物について</li> <li>11 医療安全情報 No.118 「外観の類似した薬剤の取り違え」</li> <li>12 医療安全マニュアルの改正について</li> </ol>
第7回	10/24	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度 第6回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 事例報告</li> <li>5 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>6 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>7 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>8 患者強化月間の取り組みについて</li> <li>9 「医療行為における同意と説明」の実施状況調査について</li> <li>10 医療安全情報No.119 「シリンジポンプの薬剤量や溶液量の設定間違い」</li> <li>11 リスクマネジャーへの月次配布物について</li> <li>12 特定機能病院承認要件の見直し</li> <li>13 医療安全マニュアルの改正について</li> </ol>
第8回	11/28	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度 第7回 安全管理対策委員会議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 立ち入り検査の結果報告</li> <li>5 事例報告</li> <li>6 医薬品安全管理者からの報告事項</li> <li>7 医療機器安全管理者からの報告事項</li> <li>8 患者からの安全管理に関わる相談報告</li> <li>9 中心静脈穿刺全数調査 (7-9月)</li> <li>10 7月~9月のインシデント報告</li> <li>11 医療安全情報No.120 「薬剤名の表示がない注射器に入った薬剤の誤投与」</li> <li>12 リスクマネジャーへの月次配布物について</li> <li>13 禁忌・適応外使用医薬品の使用状況報告について</li> <li>14 「安全管理に関する基本指針」の改正について</li> <li>15 「安全管理対策委員会要綱」の改正について</li> <li>16 「医療安全マニュアル」の改正について</li> </ol>

開催日		主な議題
第9回	12/26	1 平成28年度 第8回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 特定機能病院の承認要件変更への当院の対応状況 5 事例報告 6 医薬品安全管理責任者からの報告事項 7 医療機器安全管理責任者からの報告事項 8 患者からの安全管理に関わる相談報告 9 医療安全情報No. 121「経鼻栄養チューブの誤挿入」 10 リスクマネジャーへの月次配布物について 11 インフォームドコンセントの実施状況調査の結果
第10回	1/23	1 平成28年度 第9回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理責任者からの報告事項 6 医療機器安全管理責任者からの報告事項 7 患者からの安全管理に関わる相談報告 8 院内への防犯カメラ設置の進捗について 9 病理レポートのチェック状況 10 カリウム吸着フィルターの運用変更について 11 病院職員表彰候補者推薦について 12 医療安全情報No. 122「透析前の体重測定の見直し」 13 リスクマネジャーへの月次配布物について 14 医療安全マニュアル改正 15 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について
第11回	2/27	1 平成28年度 第10回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 医薬品安全管理責任者からの報告事項 6 医療機器安全管理責任者からの報告事項 7 患者からの安全管理に関わる相談報告 8 医療安全情報No. 123「永久気管孔へのフィルムドレッシング材の貼付」 9 リスクマネジャーへの月次配布物について 10 特定機能病院における監査委員会の設置について 11 院内医療事故会議について 12 病棟内監視カメラ増設について 13 患者確認強化月間 院内巡視結果 14 中心静脈穿刺全数調査（10月～12月）報告 15 TeamSTEPPS研修未受講者リスト（診療科部長・部長補佐） 16 平成29年度研修計画 17 医療安全マニュアル「Ⅲ-1 患者確認」 18 医療安全マニュアル改正
第12回	3/27	1 平成28年度 第11回 安全管理対策委員会議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 特定機能病院における監査委員会の報告 6 平成28年度院内医療事故会議報告 7 医薬品安全管理責任者からの報告事項 8 医療機器安全管理責任者からの報告事項 9 患者からの安全管理に関わる相談報告 10 医療安全情報No. 124「2016年に提供した医療安全情報」 11 リスクマネジャーへの月次配布物について 12 平成29年度安全管理対策委員会日程 13 医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について 14 救急部からの報告 15 退職者・異動者挨拶

# センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 國崎統括安全管理者より新年度挨拶</li> <li>2. 平成28年度委員について（新任委員紹介）</li> <li>3. 平成28年度会議予定</li> <li>4. 医療関連ニュース（平成28年2月25日～3月23日分）報告</li> <li>5. 3月リスクマネージャー会議報告</li> <li>6. 新任職員への医療安全に関するオリエンテーションについて</li> <li>7. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>8. リエゾンチーム報告</li> <li>9. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>10. 総合サポートセンター報告</li> <li>11. 中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクト報告</li> <li>12. プロジェクト報告</li> <li>13. 手術室術野映像記録の状況について</li> <li>14. 事例報告</li> <li>15. 死亡退院報告</li> <li>16. リスクマネージャー会議：グループワークについて</li> <li>17. 事例検討</li> <li>18. その他報告</li> </ol>
第2回	5月2日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成28年度安全管理指導者後任の紹介について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年3月25日～4月20日分）報告</li> <li>3. 4月リスクマネージャー会議報告</li> <li>4. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>5. リエゾンチーム報告</li> <li>6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>7. 総合サポートセンター報告</li> <li>8. 死亡退院報告</li> <li>9. 新任職員への医療安全に関するオリエンテーション実施報告</li> <li>10. 中心静脈カテーテル挿入・留置プロジェクト報告</li> <li>11. 平成28年度 リスクマネージャー会議 グループワークについて</li> <li>12. 平成27年度下半期インシデント報告</li> <li>13. 診療科部長とリスクマネージャー、安全管理室との面談</li> </ol>
第3回	6月6日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療関連ニュース（平成28年4月1日～5月25日分）報告</li> <li>2. 5月リスクマネージャー会議報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. 診療科部長・リスクマネージャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談</li> <li>9. 中心静脈カテーテル挿入・留置講習会開催案内</li> <li>10. 院内緊急医療安全情報の配布</li> <li>11. 人工呼吸器「クリーンエア ASTLAL」の使用再開について</li> <li>12. 事例報告</li> </ol>
第4回	7月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療関連ニュース（平成28年5月26日～6月22日分）報告</li> <li>2. 6月リスクマネージャー会議報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. 診療科部長・リスクマネージャーと統括安全管理者・安全管理室との個別面談</li> <li>9. チームSTEPPS研修会開催案内</li> <li>10. 公表判定委員会報告</li> </ol>
第5回	8月1日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第195回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年6月23日～7月13日分）報告</li> <li>3. 7月リスクマネージャー会議報告</li> <li>4. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>5. リエゾンチーム報告</li> <li>6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>7. 総合サポートセンター報告</li> <li>8. 死亡退院報告</li> <li>9. チームSTEPPS研修会実施報告</li> <li>10. 附属2病院共通クリニカルインディケータ公開について</li> <li>11. 手術室のモニタリングシステム設置に伴うルール作成について</li> <li>12. 特定機能病院における医療安全対策強化のための承認要件見直しについて</li> <li>13. 事例共有</li> <li>14. その他（配布資料説明）</li> </ol>
第6回	9月5日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第196回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年7月14日～8月24日分）報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. 審議事項</li> <li>9. その他（配布資料説明）</li> </ol>

開催日		主な議題
第7回	10月3日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第197回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年8月25日～9月21日分）報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. 医療安全巡回について</li> <li>9. 研修会報告・案内</li> <li>10. 医療安全対策に関する業務改善計画書（案）について</li> </ol>
第8回	11月7日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第198回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年9月22日～10月26日分）報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. 医療安全巡回について</li> <li>9. 医療安全週間について</li> <li>10. e-learning「基本の10問」「医療コミュニケーション」報告</li> <li>11. 平成28年度上半期インシデント報告</li> <li>12. 研修会報告・案内</li> <li>13. 手術映像記録のルールについて</li> <li>14. 転倒転落予防のための履物について</li> <li>15. 安全管理ニュース「SAFETY EYES」について</li> </ol>
第9回	12月2日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第199回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年10月27日～11月22日分）報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. 医療安全巡回について</li> <li>9. 医療安全週間について</li> <li>10. e-learning「基本の10問」「医療コミュニケーション」報告</li> <li>11. 研修会報告・案内</li> <li>12. 妊婦手術時の胎児心音の確認について</li> <li>13. 審議事項</li> <li>14. 事例共有</li> </ol>
第10回	1月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第200回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年11月24日～12月21日分）報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. e-learningに関する報告</li> <li>9. 医療監視報告</li> <li>10. 平成28年度 医療安全推進週間 部署スローガン発表</li> <li>11. 研修会案内</li> <li>12. 事例進捗報告</li> <li>13. 事例共有</li> </ol>
第11回	2月6日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第201回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年12月22日～平成29年1月25日分）報告</li> <li>3. 看護部特定行為に係る看護師研修に関する報告</li> <li>4. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>5. リエゾンチーム報告</li> <li>6. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>7. 総合サポートセンター報告</li> <li>8. 死亡退院報告</li> <li>9. 研修会報告・案内</li> <li>10. 事例進捗報告</li> <li>11. 事例共有</li> </ol>
第12回	3月6日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第202回 安全管理対策委員会議報告について</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成29年1月26日～2月22日分）報告</li> <li>3. RST（レスピラトリー・サポート・チーム）報告</li> <li>4. リエゾンチーム報告</li> <li>5. 医薬品・医療機器安全管理責任者会議報告</li> <li>6. 総合サポートセンター報告</li> <li>7. 死亡退院報告</li> <li>8. リスクマネジャー会議グループワーク発表報告</li> <li>9. 平成28年度医療安全に関する院外研修参加実績</li> <li>10. 平成29年度安全管理対策委員会開催予定</li> <li>11. 事例進捗報告</li> <li>12. 医療監視対応報告</li> <li>13. 監査委員会報告</li> </ol>

### 3 リスクマネジャー会議活動状況

#### 附属病院

開催日	主な議題
第1回 4/18	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成27年度第12回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 今年度の医療安全管理体制について</li> <li>3 今年度のRM会議 グループワークについて</li> <li>4 院内の医療安全に関する研修について</li> <li>5 受講証明書発行について</li> <li>6 院外の医療安全に関する研修について</li> <li>7 医療関連ニュースについて</li> <li>8 事例報告</li> <li>9 疑義照会事例</li> <li>10 オカレンス報告</li> <li>11 インシデントレポート細目について</li> <li>12 エコー共有について</li> <li>13 診療内容説明書について</li> <li>14 患者基本情報の入力状況</li> <li>15 酸素流量カードについて</li> <li>16 医療安全情報（後日、本日の事例等と合わせて配信します）</li> <li>17 RMの役割について（新任RM対象）</li> <li>18 平成28年度リスクマネジャー会議日程表</li> </ol>
第2回 5/9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第1回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 平成27年度インシデント件数報告</li> <li>3 院内の医療安全に関する研修について</li> <li>4 医療関連ニュースについて</li> <li>5 事例報告</li> <li>6 手術・侵襲的処置・検査の術者資格等に関する内規提出状況</li> <li>7 鎮静レシピ・マニュアル更新について</li> <li>8 疑義照会事例</li> <li>9 患者基本情報の入力状況調査のおしらせ（5月）</li> <li>10 血液浄化室における低カリウム血症の補正について</li> <li>11 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について</li> <li>12 グループワークについて</li> </ol>
第3回 6/6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第2回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 事例報告</li> <li>5 現場保全について</li> <li>6 インシデントレポートの入力項目変更について</li> <li>7 疑義照会事例</li> <li>8 患者基本情報の入力状況調査のおしらせ（5月）</li> <li>9 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づく確認について</li> <li>10 麻薬金庫の暗証番号変更について</li> <li>11 使用実績の少ない病棟配置薬の見直しについて</li> <li>12 中心静脈穿刺全数調査平成27年度統計について</li> <li>13 抗凝固薬一覧 改正について</li> <li>14 アブラキサン使用時の輸血同意取得について</li> </ol>
第4回 7/4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第3回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 事例報告</li> <li>5 「医療安全対策に関する部門内業務改善計画書」の運用と、 「医療安全に関する部門内検討・会議報告書」の廃止について</li> <li>6 経管栄養に関するアンケートについて</li> <li>7 疑義照会事例</li> <li>8 リスクマネジャーによる院内巡視について</li> <li>9 中心静脈カテーテル挿入と管理マニュアル改正について</li> <li>10 医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について</li> <li>11 手術および侵襲的検査・処置の術者資格に関する内規および、 医師の診療体制、主治医・指導医に関する内規（更新）について</li> <li>12 医療安全情報（後日医療安全ニュースと合わせて配布します）</li> </ol>

開催日	主な議題
第5回 9/5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第4回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 特定機能病院の承認要件変更について</li> <li>5 事例報告</li> <li>6 疑義照会事例</li> <li>7 「医薬品の安全使用のための業務手順書」について</li> <li>8 リスクマネジャー院内巡視の結果</li> <li>9 口頭指示メモについて</li> <li>10 麻薬指示コメント（定型文）について</li> <li>11 医療安全情報（後日医療安全ニュースと合わせて配布します）</li> </ol>
第6回 10/3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第5回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 特定機能病院の承認要件変更について</li> <li>5 名古屋市立大学病院とのピアレビュー結果</li> <li>6 患者死亡時の対応について</li> <li>7 事例報告</li> <li>8 疑義照会事例</li> <li>9 向精神薬指定の追加（エチゾラム、ゾピクロン）</li> <li>10 医療安全マニュアルの改正について</li> <li>11 医療安全情報（後日医療安全ニュースと合わせて配布します）</li> <li>12 電話機へのドクターコールの番号（※99）表示について</li> <li>13 立ち入り検査（11/22）、医療機能評価受審（12/12、12/13）</li> </ol>
第7回 11/7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第6回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 事例報告</li> <li>5 疑義照会事例</li> <li>6 医療安全マニュアルの改正について</li> <li>7 身体抑制マニュアル改正について</li> <li>8 医療安全情報No. 119（後日医療安全ニュースと合わせて配布します）</li> <li>9 電話機へのドクターコールの番号（※99）表示について</li> <li>10 酸素ボンベスタンド納品について</li> <li>11 「医薬品の安全使用のための業務手順書」第12版改正内容について</li> <li>12 医療行為における説明と同意の実施状況調査について</li> <li>13 必要時処方オーダーの入力規則の変更について</li> <li>14 立ち入り検査（11/22）</li> </ol>
第8回 12/5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第7回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 立ち入り検査の結果報告</li> <li>5 患者確認強化月間（1月）</li> <li>6 7月～9月のインシデント報告</li> <li>7 事例報告</li> <li>8 疑義照会事例</li> <li>9 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づく実施状況の確認及び報告書の提出について</li> <li>10 医療安全管理指針・医療安全マニュアルの改正について</li> <li>11 ポケット版医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について</li> <li>12 医療安全情報No. 120（後日医療安全ニュースと合わせて配布します）</li> <li>13 グループワークの発表について 1月：DFGH、2月：ABCE</li> <li>14 医療安全講演会・感染対策講演会の受講対象者の把握について</li> <li>15 患者確認ポスターの貼り替について</li> </ol>
第9回 1/16	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成28年度第8回リスクマネジャー会議議事録について</li> <li>2 医療安全に関する研修について</li> <li>3 医療関連ニュースについて</li> <li>4 事例報告</li> <li>5 疑義照会事例</li> <li>6 業務改善計画書の最終評価について</li> <li>7 医療機能評価機構への報告テーマの変更</li> <li>8 薬剤アレルギーの入力状況調査実施のお知らせ</li> <li>9 患者確認強化月間（1月）</li> <li>10 医療安全講演会・感染対策講演会の受講対象者の把握について</li> <li>11 医療安全情報No. 121（後日医療安全ニュースと合わせて配布します）</li> <li>12 SBARスクリーンセイバー掲示について</li> <li>13 グループワークの発表について 1月：DH 2月：ABCG 3月：DEF</li> </ol>

開催日	主な議題
第10回	2/6 1 平成28年度第9回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 疑義照会事例 6 業務改善計画書の最終評価について 7 薬剤アレルギーの入力状況調査実施結果 8 患者確認強化月間（1月）評価 9 医療安全管理指針・医療安全マニュアル改正について 10 病理レポートチェックについて 11 カリウム吸着フィルターについて 12 ベッドネームラベルについて 13 医療安全講演会の未受講者について 14 医療安全情報No. 122（後日医療安全ニュースと合わせて配布します） 15 グループワークの発表について 2月：ABCG 3月：DEF
第11回	3/6 1 平成28年度第10回リスクマネジャー会議議事録について 2 医療安全に関する研修について 3/6（月）12：00～ 3 医療関連ニュースについて 4 事例報告 5 薬剤疑義照会事例 6 入院鎮静患者の退室確認書（案）について 7 医療安全マニュアルの改正について 8 患者確認強化月間 院内巡視結果について 9 高難度新規医療技術を用いた医療提供及び 10 未承認新規医薬品・医療機器を用いた医療提供を行う際の手続きについて 11 「医薬品の安全使用のための業務手順書」について 12 業務改善計画書の最終評価について（リマインド） 13 医療安全講演会の未受講者について 14 医療安全情報No. 123（後日医療安全ニュースと合わせて配布します） 15 警備アドバイザー紹介 16 次年度のRMグループワークテーマについて 17 グループワークの発表について 3月：DEF



センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統括安全管理者より</li> <li>2. 4月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>3. 医療関連ニュース（平成28年2月25日～3月23日分）</li> <li>4. 医療安全情報 No. 112 「2015年に提供した医療安全情報」</li> <li>5. リスクマネジャーの役割確認と今年度の会議予定</li> <li>6. 中心静脈カテーテル挿入・留置実技講習会のお知らせ</li> </ol>
第2回	5月9日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年3月25日～4月20日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 113 「中心静脈カテーテル抜去後の空気塞栓」</li> <li>4. 新任職員への医療安全に関するオリエンテーション実施報告</li> <li>5. e-learningについて</li> <li>6. 中心静脈カテーテル挿入・留置実技講習会予定</li> <li>7. 診療科部長とリスクマネジャー、統括安全管理者・安全管理室との個別面談実施について</li> <li>8. 平成27年度下半期インシデント報告</li> <li>9. グループワークについて</li> </ol>
第3回	6月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 6月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年4月21日～5月25日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 114 「抗凝固剤・抗血小板剤の再開忘れ」</li> <li>4. 診療科部長とリスクマネジャー、安全管理室との個別面談報告</li> <li>5. e-learningについて</li> <li>6. 研修会案内</li> <li>7. 院内緊急医療安全情報</li> </ol>
第4回	7月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 7月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年5月26日～6月22日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 115 「2012年から2014年に提供した医療安全情報」</li> <li>4. 診療科部長・中央部門長とリスクマネジャー、安全管理室との個別面談報告</li> <li>5. インシデントレポート関連報告</li> <li>6. 公表判定委員会報告</li> <li>7. 研修会案内</li> <li>8. グループワーク</li> </ol>
第5回	9月12日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 8、9月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年7月14日～8月24日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 116 「与薬時の患者取り違い」 No. 117 「他施設からの食糧情報の確認不足」</li> <li>4. e-learning「医療コミュニケーション」開講案内と依頼</li> <li>5. 医療安全巡回について</li> <li>6. 研修会案内</li> <li>7. グループワーク</li> </ol>
第6回	10月17日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 10月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年8月25日～9月21日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 118 「外観の類似した薬剤の取り違い」</li> <li>4. e-learning「医療コミュニケーション」</li> <li>5. 電子カルテ上における伝言板機能についてお知らせ</li> <li>6. 安全管理巡回について</li> <li>7. 業務改善報告書（案）について</li> <li>8. 研修会報告・案内</li> <li>9. 再周知・確認事項</li> <li>10. グループワーク アンケート依頼</li> </ol>
第7回	11月14日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 11月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年9月22日～10月26日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 119 「シリンジポンプの薬剤量や溶液量の設定間違い」</li> <li>4. e-learning「基本の10問」「医療コミュニケーション」について</li> <li>5. 医療安全巡回について</li> <li>6. 医療安全週間</li> <li>7. 平成28年度上半期インシデント報告</li> <li>8. 研修会報告・案内</li> <li>9. 再周知・確認事項</li> <li>10. グループワーク アンケート依頼</li> </ol>
第8回	12月12日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 12月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年10月27日～11月22日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 120 「薬剤名の表示がない注射器に入った薬剤の誤投与」</li> <li>4. e-learning「基本の10問」「医療コミュニケーション」報告</li> <li>5. 医療安全巡回について</li> <li>6. 医療安全週間</li> <li>7. 電子カルテ「伝言板」機能について説明</li> <li>8. 妊婦手術時の胎児心拍確認について</li> <li>9. 研修会報告・案内</li> <li>10. 事例共有</li> <li>11. グループワーク</li> </ol>

開催日		主な議題
第9回	1月16日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年11月24日～12月21日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 121 「経管栄養チューブの誤挿入」</li> <li>4. 医療安全推進週間 ベストスローガン発表</li> <li>5. 研修会報告・案内</li> <li>6. 病理検査の参照漏れ防止策について</li> <li>7. 事例共有</li> <li>8. グループワーク発表</li> </ol>
第10回	2月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成28年12月22日～平成29年1月25日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 122 「透析前の体重測定の見直し」</li> <li>3. PMDA医療安全情報 No. 49 「抗リウマチ剤メトトレキサート製剤の誤投与（過剰投与）について（その2）」</li> <li>4. 研修会報告・案内</li> <li>5. 平成29年度診療科リスクマネジャー選出依頼</li> <li>6. 事例共有</li> <li>7. グループワーク発表</li> </ol>
第11回	3月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3月安全管理対策委員会会議報告</li> <li>2. 医療関連ニュース（平成29年1月26日～2月22日分）</li> <li>3. 医療安全情報 No. 123 「永久気管孔へのフィルムドレッシング材の貼付」</li> <li>4. 研修会報告・案内</li> <li>5. 病理結果報告書の「参照確認ボタン」設置について</li> <li>6. 平成29年度リスクマネジャー選出依頼（中央部門・事務部門）</li> <li>7. リスクマネジャー引継事項の依頼</li> <li>8. 事例共有</li> <li>9. 部署での取組紹介</li> </ol>

#### 4 安全管理研修の開催状況

##### 附属病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新採用・転入者 医療安全研修	4/5	新採用・転入職員、前期研修医2年目、大学院生	119人	1.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線診療における医療安全：放射線科 医師</li> <li>エラー防止に向けた処方オーダーについて： 薬剤部 副薬剤部長</li> <li>研修医の指導に際して研修医の指導医による指示確認の原則：臨床研修センター長</li> <li>手術・検査における医療安全：麻酔科 医師</li> <li>診療録の記載について：医療情報部長</li> <li>情報システムの利用と個人情報保護について： 医療情報部長</li> <li>当院の医療安全について：医療安全管理者</li> <li>平成27年度リスクマネジャー会議 ワーキンググループより 「附属病院の勤務初日から役立つこと」： 一般外科 医師</li> </ul>
	5/2		14人		
	e-L		142人		
TeamSTEPS研修	5/11 6/20 7/26 9/8 10/11 11/25	全職員	72人 72人 68人 69人 65人 61人	1.5時間	参加型医療安全研修：安全管理指導者 ファンリテーター：H28年度リスクマネジャー
第1回 医療安全講演会 および ビデオ講演会	4/11	全職員	242人	1時間	当院で起きた医療事故と医療安全の取り組みの振り返り： 安全管理指導者
	5/2		14人		
	5/10		32人		
	5/10		5人		
	5/11		33人		
	5/12		35人		
	5/12		17人		
	5/13		15人		
	5/13		15人		
	5/16		17人		
5/16	6人				
DVD	8人				
第2回 医療安全講演会 および ビデオ講演会	5/31	全職員	307人	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関における暴言暴力対策 ：外部講師（国立国際医療研究センター医師）</li> </ul>
	6/24		32人		
	6/27		81人		
	6/28		131人		
	6/28		74人		
	6/29		101人		
	6/30		129人		
	6/30		46人		
	7/1		84人		
	7/11		5人		
DVD	6人				
第3回 医療安全講演会	9/12	全職員	152人	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際にあった事例から考える経管栄養のウソ・ホント ：栄養サポートチーム</li> </ul>
	10/24		74人		
	10/25		101人		
	10/25		22人		
	10/26		92人		
	10/26		29人		
	10/27		76人		
	10/27		20人		
	10/28		70人		
	10/28		31人		
10/31	32人				
DVD	23人				
第4回 医療安全講演	10/12	全職員	161人	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品・医療機器の安全管理体制の確保 ：医薬品安全管理責任者・臨床工学担当</li> </ul>
	11/7		22人		
	11/8		42人		
	11/8		15人		
	11/9		38人		
	11/10		26人		
	11/10		17人		
	11/11		36人		
	11/14		29人		
	11/16		19人		
DVD	9人				

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
第5回 医療安全講演会	1/12	全職員	206人	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院におけるせん妄対策の導入について ：精神科リエゾンチーム</li> <li>・患者確認強化月間 ：安全管理指導者</li> </ul>
	2/6		50人		
	2/7		87人		
	2/7		56人		
	2/8		115人		
	2/8		51人		
	2/9		91人		
	2/10		86人		
	2/16		75人		
第6回 医療安全講演会	2/17	全職員	47人	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部監査者からの当院への評価結果 ：医療安全管理者</li> <li>・平成28年度リスクマネージャーによるグループワークの発表 ：医療安全マニュアルの映像化（Cグループ）</li> <li>：バーチャルツアー他部署の仕事を覗いてみよう（Dグループ）</li> <li>：モニターアラームコントロールチーム（Fグループ）</li> </ul>
	DVD		29人		
	2/15		139人		
	3/6		42人		
	3/7		68人		
	3/7		35人		
MR磁場体験研修	3/8	全職員	53人	1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDによる説明</li> <li>・MR室内での実施研修 講師：放射線技師</li> </ul>
	3/8		32人		
	3/10		50人		
	DVD		7人		
	4/11		15人		
	4/12		16人		
	5/16		11人		
	5/18		15人		
	5/24		10人		
心肺蘇生講習会	5/26	全職員	16人	1.0時間	人工呼吸、心臓マッサージ、自動体外式除細動器の使用について：心肺蘇生ワーキング
	5/27		7人		
	6/15		13人		
中心静脈カテーテル講習会	7/20	医師・研修医	6人	3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、シミュレーターを使用した実技演習 講師：CVCプロジェクトメンバー</li> </ul>
	10/19		11人		
	4/27		32人		
人工呼吸器研修 レベルⅠ	5/24	医師・研修医・看護師・医学部生	43人	1.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義（人工呼吸器使用の目的と適応、事故予防マニュアルに沿った取扱い、緊急時の対応等）、演習：人工呼吸器教育研修プログラム主催</li> </ul>
	10/25		7人		
	6/17		26人		
	7/1		19人		
人工呼吸器研修 レベルⅡ	9/9	レベルⅠ受講者	4人	1.5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義（人工呼吸器使用の目的と適応、事故予防マニュアルに沿った取扱い、緊急時の対応等）、演習：人工呼吸器教育研修プログラム主催</li> </ul>
	10/7		8人		
	7/22		13人		
酸素療法勉強会	9/30	コメディカル	11人	1.0時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素療法の基礎等：人工呼吸器サポートチーム</li> </ul>
	10/21		5人		
10/7	20人	1.0時間	20人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎮静のリスクを理解し、鎮静後の管理が適切に行う ：鎮静管理プロジェクトリーダー</li> </ul>	
10/21	20人				
鎮静管理勉強会	2/22	看護師	12人	1.0時間	
研修医セミナー	5/26	医師（研修医）	46人	60分	麻薬の取り扱いについて
研修医セミナー	7/14	研修医	25人	60分	抗がん剤処方について 薬を処方するときの注意点
静脈注射研修	5/20	看護師	86人	30分	薬剤の基礎知識と管理
	5/23				
看護研修	7/25	看護師	30人	75分	鎮痛薬の特徴と副作用
静脈注射研修	9/26	看護師	69人	40分	薬剤の基礎知識と管理
	9/28				
安全使用のための医療機器研修	6/16	放射線技師・医師・看護師	15	1時間30分	放射線治療装置2台、診療用放射線照射装置の取扱研修

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
放射線 安全取扱講習 【新規】	6/29	放射線技 師・医 師・看護 師	23	1時間30分	新規に放射線取扱業務に従事する職員向けの教育研修
	9/21				
放射線 安全取扱講習 【密封小線源】	6/13	放射線技 師・医 師・看護 師	36	1時間	密封小線源治療に従事する職員向けの教育研修
	6/28				
放射線 安全取扱講習 【核医学】	6/21	放射線技 師・医 師・看護 師	47	1時間	核医学診療に従事する職員向けの教育研修
	7/20				
放射線安全取扱講 習 【放射線治療】	6/30	放射線技 師・医 師・看護 師	29	1時間	放射線治療に従事する職員向けの教育研修
	7/5				
放射性医薬品 安全取扱講習 【ゾーフィゴ静 注】	7/20	放射線技 師・医 師・看護 師	20	1時間	新規RI内用療法に従事する職員向けの教育研修
機器導入時研修 【CT】	3/3	放射線技 師・看護 師	45	1時間	新規導入機器の安全に関する取扱い
機器導入時研修 【監視モニタ】	3/21	放射線技 師・看護 師	12	1時間	新規導入機器の安全に関する取扱い
ドクターコール 説明会	4/19	放射線技 師・看護 師	45	15分	ドクターコール、部内コールの説明
危険予知 トレーニング	9/21 10/3 10/13 10/20	放射線技 師・看護 師	30	1時間	患者確認に関する危険予知トレーニング
放射線部新採用職 員医療安全研修	4/5	放射線技 師	4	1時間30分	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、職場改善情報 等の運用されている取り組み
患者移乗訓練	6/9	放射線技 師	25	1時間30分	車椅子、ベッドからの患者移乗方法
手指衛生に関する 安全管理講習	6/8	放射線技 師	45	1時間	手指衛生に関する安全管理研修
感染に関する安全 管理講習	1/11	放射線技 師	30	1時間	感染に関する安全管理研修
補助循環装置研修	4/13	医師 研修医 看護師 臨床工学 技士	18人	1時間	安全な補助循環装置の操作研修 PCPS・IABPトラブルシューティング BIOMED VAD取り扱い説明 AB5000 ABPortable：臨床工学技士
	4/14		4人		
	5/9		3人		
	5/11		8人		
	5/12		5人		
	5/13		1人		
	5/17		3人		
	5/23		2人		
	5/23		15人		
	5/24		1人		
	5/27		1人		
	5/31		1人		
	6/3		4人		
	6/6		9人		
	6/30		5人		
	7/6		3人		
	7/26		18人		
	8/23		9人		
	8/26		7人		
	9/5		3人		
9/9	3人				
9/28	4人				
10/6	4人				
12/1	4人				
1/24	1人				
2/3	4人				
3/15	2人				
3/17	6人				
3/21	6人				

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
人工呼吸器装置研修	6/17 7/1 7/12 7/22 9/9 9/30 10/7 10/21 10/24	研修医 看護師 臨床工学 技士	26人 19人 11人 2人 4人 11人 8人 4人 3人	1時間	人工呼吸器研修の安全な操作研修 SERVO-n、SERVO-U、BiPAP Vision、Trilogy02、 Triloy100Plus、Servo-i、Babylog勉強・説明会 ：臨床工学技士
血液浄化装置研修	5/10	医師 臨床工学 技士	6人	30分	新規採用の持続緩徐式血液濾過器の説明：臨床工学技士
モニタ研修	4/25 5/27	看護師 臨床工学 技士	11人 8人	1時間	生体情報モニタ勉強会：臨床工学技士
全身麻酔器研修	4/6 4/25 5/31 6/23 7/28 8/25 9/29 10/26 1/25 3/29	麻酔科 研修医・医 師	4人 2人 4人 2人 2人 1人 8人 1人 2人 7人	1時間	全身麻酔器研修の安全操作研修 手術室 Fabius GS・Tiro Aysis：麻酔科医師
保育器研修	4/18 6/11 7/1	研修医	1人 1人 1人	1時間	安全な保育器研修の使用研修 NICU V-2100G/2200 CaleoV707：医師
除細動器研修	10/13 12/14 12/15	看護師	16人 7人 5人	1時間	新規導入機器説明TEC-5621：臨床工学技士
静脈注射（血管確保）	5/20 5/23 9/26 9/28 3/14	CDP1以上	151	20時間	末梢静脈留置針による血管確保を含む、静脈注射を安全に実施するための知識・技術を習得する。：救急部医師、業務担当副看護部長、医療安全管理室担当係長、感染管理認定看護師長、薬剤師
CVC管理研修	4/12 4/19 4/26 5/20 6/8 7/5 8/2 9/6 11/8 12/6 1/10	CDP1以上	268	25時間	中心静脈栄養カテーテル管理の基本的知識・技術を学び、中心静脈栄養カテーテル管理に関連したリスクを知り、合併症予防とトラブル時の対処方法を学ぶ。：感染管理認定看護師長、集中ケア認定看護師長、業務担当看護師長、看護師長
フィジカルアセスメントⅡパート1	6/22 6/29	CDP2	48	8時間	1. フィジカルアセスメントの理解を深め、患者の情報を根拠に基づいて判断できる。 2. アセスメントから看護ケアを具体的に考える事ができる。：救急部医師、集中ケア認定看護師
フィジカルアセスメントⅡパート2	9/7 7/2	CDP2	47	8時間	
フィジカルアセスメントⅡパート3	12/5 12/14	CDP2	47	8時間	
看護と安全Ⅰ	10/11	CDP2	30	4時間	1. 看護に必要な基本的な医療安全を学び、実践に活かす。 2. インシデント発生時の対応、再発予防策を学ぶ。：医療安全管理室担当係長
BLS②研修	9/7 9/14	CDP2以上	47	8時間	ベッドサイドでの急変時の対応がイメージでき、根拠に事づいた行動がとれる。：救急看護認定看護師長
急変シミュレーション初級	10/12	CDP2以上	24	4時間	1. 急変時におけるメンバーの役割がわかり、行動できる。 2. 急変時における小児（乳幼児）と成人の違いを理解し、正しい1次救命処置を実施できる。：集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師
呼吸不全患者の看護（公開研修）	12/7	CDP2以上	7	8時間	呼吸管理の基本的知識・技術を学び、呼吸不全患者の看護に必要な具体的なケア介入を見出すことができる。：集中ケア認定看護師長、集中ケア認定看護師、理学療法士、教育委員
がん化学療法の安全な投与管理（公開研修）	10/13	CDP2以上	27	4時間	がん化学療法における看護師の役割が理解でき、看護実践に活かすことができる。：化学療法センター長、がん化学療法担当薬剤師、がん化学療法認定看護師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
がん放射線療法の理解と患者ケア（公開研修）	12/8	GDP2以上	16	4時間	1.放射線診療・放射線防護・放射線治療についての基本的知識を習得し、有害事象に対する具体的ケアを学ぶ。 2.放射線療法看護の特徴を踏まえた患者・家族の支援方法を学ぶ。：放射線科医師、がん放射線看護認定看護師、放射線部放射線技師
災害看護	11/18	GDP2以上	21	4時間	地域医療における災害時の基本的な対応がわかる。：救急看護認定看護師長
看護と安全Ⅱ	1/24	GDP3	13	4時間	インシデント発生時、リーダー看護師としての対応方法、再発予防策を検討する事ができる。：医療安全管理室担当係長
フィジカルアセスメントⅢ（急変予兆）	7/13	GDP3以上	18	4時間	急変を未然に防ぐための患者の状態変化に気付く事ができ、迅速な対応ができる。：救急看護認定看護師長、集中ケア認定看護師長、集中ケア認定看護師
フィジカルアセスメントⅣ（臨床推論）	1/11	GDP3以上	9	4時間	臨床推論を学び、日々の看護アセスメントの方法として活用できる。集中ケア認定看護師長
急変シミュレーション中級	10/26	GDP3以上	24	4時間	急変時にリーダーとしての役割とれる。：集中ケア認定看護師
医療KYT研修	1/18	GDP3以上 安全委員	37	4時間	部署でのKYT（危険予知活動）と再発予防のためのインシデントレポート分析の推進役を担う事ができる。：愛媛大学附属病院医療安全管理室副部長
急変シミュレーション上級	11/2	GDP4以上	9	4時間	1.急変時におけるリーダーとしての役割を学び、急変時対応に関する技術の指導が行える。 2.BLSアルゴリズムにおける指導的役割がとれる。：救急看護認定看護師長、集中ケア認定看護師長、集中ケア認定看護師
管理者の災害看護	3/14 3/21	看護師長	24	3時間	災害拠点病院としての役割を理解し、夜間・休日の管理師長の役割を理解する：救急看護認定看護師長、7-4病棟看護師長、8-4病棟看護師長
ステップⅡパート1（看護技術）	4/10 4/13 4/16	新人看護職員	59	24時間	基本的な看護技術を学ぶ。基本的な看護技術のイメージ化が図れる。病棟配属への心理的な準備を図り、リアリティショックの予防の機会とする。：部署看護師長、認定看護師、教育委員
ステップⅡパート2（看護技術）	5/28	新人看護職員	59	8時間	
新人ステップⅢ（BLS①&タイムマネジメント）	7/27 7/29	新人看護職員	55	16時間	1.新人看護職員として、院内急変時の対応がイメージでき、心肺蘇生術を習得できる。 2.日常業務の中で、混乱時に周囲ヘタイムリーに応援を求められることができ、業務遂行する上での適切な時間管理について学び、活かす。：7-2病棟看護師長、集中ケア認定看護師
新人ステップⅣ（フィジカルアセスメントⅠ）	8/22 8/24	新人看護職員	54	16時間	フィジカルアセスメントの基礎を学び、根拠に基づいて患者情報を収集し、観察した内容を適切に報告・相談できる。：看護学科基礎看護学准教授
新人ステップⅥ（リスクアセスメント・多重業務）	11/28 11/30	新人看護職員	49	16時間	1.看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護が提供できる。 2.多重業務の中で、患者の安全を考えた業務の優先順位の判断を体験し、今後の看護実践に活かす。：医療安全管理室担当係長（看護師長）、教育委員会担当看護師長、教育委員看護師
処置別感染対策	5/23 10/21 10/24	新人看護職員	59	12時間	尿道留置カテーテル・中心静脈栄養カテーテルの管理について学ぶ：感染管理認定看護師長、感染管理認定看護師、集中ケア認定看護師長
褥瘡対策・予防ケア	5/17 5/24 5/31	新人看護職員	61	12時間	診療報酬上の褥瘡関連要件を知り、全入院患者を対象に実施する褥瘡リスクアセスメントと基本的な予防的ケア方法が実施できる。：皮膚排泄ケア認定看護師、理学療法士
災害の備え	10/21 10/24	新人看護職員	55	2時間	災害時の対応について、基本的な知識を学ぶ。：救急看護認定看護師長

センター病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新任医師 オリエンテーション	4/1	新任医師	87名	1.5時間	知っておきたい病院の基本、診療録・医療情報、急患対応、院内の情報伝達、安全管理、感染対策、手術部・麻酔科、施設利用について等 講師：病院長、呼吸器病センター部長、診療情報管理担当係長、安全管理指導者、システム担当係長、麻酔科部長、感染制御部長、感染制御担当師長
臨床研修医 オリエンテーション	4/1	2年次 研修医	29名	2.5時間	感染対策、安全管理、健康管理、中心静脈穿刺講習 講師：安全管理指導者、感染制御部医師、CVCプロジェクトリーダー
臨床研修医 オリエンテーション	4/4~8	1年次 臨床研修医	各39名	全日	講義：知っておきたい病院の基本、研修医としての心がけ、医療倫理、診療におけるコミュニケーション、安全管理、健康管理、院内救急対応・災害医療、感染対策、災害対策、麻薬・処方箋・持参薬の取り扱いについて、医療面接について、チーム医療 実習：医療安全・感染対策、基礎実技（導尿、採血、医療機器）、BLS等 講師：安全管理指導者、血液浄化療法部長、化学療法・緩和ケア部長、精神医療センター部長、高度救命救急センター部長、精神医療センター医師、泌尿器・腎移植科医師、集中治療部長、血液浄化療法部医師、感染制御部長、安全管理担当師長、感染制御担当師長、臨床工学担当係長、臨床検査部係長、看護部、薬剤部ほか
新採用看護職員研修 オリエンテーション	4/5,6	新採用 看護職員	5日：98名 6日：95名	2日	看護部組織、理念、勤務体制、倫理、接遇、個人情報管理、教育プログラム、組織における役割・心構えと行動について、業務管理、防災・災害管理、安全管理、感染管理、情報管理、 講師：看護部長、統括副看護部長、業務担当副看護部長、教育・実習担当看護師長、業務担当看護師長、感染制御担当看護師長、安全管理担当看護師長、他看護師長
放射線部 新採用職員研修	4/5,4/6,4/8 5/23	新採用 診療放射線 技師	5名	各1日	・放射線部のクレドについて 講師：放射線部技師長 ・病院・放射線部門の概要について 講師：放射線部技師長 ・個人情報管理について 講師：放射線部担当係長 ・放射線部の安全管理について 講師：放射線部リスクマネジャー ・オーダリング研修 講師：診療放射線技師 ・患者接遇体験 講師：一般撮影担当技師 ・医療人としての心得 講師：診療放射線技師 ・感染対策について・手洗い実習 講師：感染制御担当師長 ・医療職におけるワークライフバランス 講師：放射線部担当係長
手術室定期研修	4/5,4/20,5/13 6/7,7/12,9/16 11/8,11/17,11 /18, 12/3,1/10,2/1 7,2/21	医師 看護師	137名	各1.0時間	中央手術室専用医療機器の基礎について 講師：臨床工学技士
新任師長 オリエンテーション	4/6	新任 看護師長	1名	30分	部署の感染管理の視点について 講師：感染制御担当師長
医療用ポンプ他取扱研修	4/6,4/12	看護師 臨床工学技 士	134名	2時間	輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、酸素ポンペ 講師：臨床工学技士
除細動器取扱研修	4/6	研修医	36名	2時間	除細動器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士



研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
平成28年度《新任者用》 放射線業務（診療）従事者講習会	4/6	新採用 診療放射線 技師	6名	3.5時間	放射線障害防止に関する法令・規程とTopics、放射線の安全取扱い、放射線の人体への影響、X線被ばく防止のポイント 講師：放射線取扱主任者
人工呼吸器取扱研修	4/7, 4/12, 4/25 .4/26, 5/6, 5/1 0, 6/3, 8/22, 8/ 24, 12/15, 1/13 1/20, 2/21	医師 研修医 看護師	162名	各1時間	人工呼吸器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士
新採用者 看護技術研修 「BLS」	4/7	新採用 看護職員	95名	2時間 × 3回	BLSとAED使用方法の講義と実技演習 講師：講師：高度救命救急センター医師、救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師、小児救急看護認定看護師、院内BLSインストラクター
新採用者 看護技術研修 「スキンケア」	4/8	新採用 看護職員	95名	2時間 × 3回	褥瘡予防の基本的知識、根拠に基づいた褥瘡予防対策を学ぶ。創傷治癒過程を確認し、根拠に基づいた看護ケアの必要性を学ぶ。 講師：皮膚排泄ケア認定看護師、スキンケア・褥瘡対策リンクナース
新採用者 看護技術研修 「感染防止の技術」	4/11	新採用 看護職員	96名	3時間	講義：職業感染と予防対策、倫理面について 講師：感染制御担当部長 演習：オムツ交換の看護技術手順に沿った感染防止技術 講師：感染対策リンクナース委員
新採用者 看護技術研修 「ME機器」	4/12	新採用 看護職員	95名	2時間 × 3回	輸液ポンプ・シリンジポンプの原理、使用方法、注意点・観察事項と酸素ポンプの取り扱い、看護技術手順に基づく技術について演習を通して学ぶ 講師：臨床工学技士
新採用者 看護技術研修 「酸素療法、生体モニター」	4/12	新採用 看護職員	95名	2時間 × 3回	酸素投与および生体モニター装着の必要性と方法、吸引手順や物品について理解し、演習で体験する 講師：急性重症患者看護専門看護師
新人看護師研修 コミュニケーション ～プロとしてのはじめの コミュニケーション～	4/13, 4/14, 4/1 8	新採用 看護職員	13日：31名 14日：31名 18日：33名	各1日	仕事をしていく上で必要となる周囲の人達との関わり方、コミュニケーションエラーを防ぐ受け取り方、聴き方、伝え方、表現の仕方を講義・グループワークを通して学ぶ 講師：外部講師（医療コンサルティング会社）
新採用者研修	4/14～5/13	新採用 臨床工学技 士	48名	各2時間	電気メス、医療用ポンプ、人工呼吸器、酸素ポンペ 講師：外部講師（該当メーカー）
呼吸療法機器取扱研修	4/14～6/23 10/20	医師 看護師 臨床工学技 士	103名	各1時間	NO療法専用機器の基礎と取り扱い方法について 講師：外部講師（該当メーカー）
心肺蘇生講習会 （医療職向け）	5/19, 7/21, 9/15, 11/17, 1/19, 3/16	医師 研修医 看護師 他医療職	186名	各1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ 講師：高度救命救急センター医師

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
地域連携研修会 感染症フォーラム	5/25	全職員、 院外医療従事者	80名 (院内59人、 院外21人)	1.5時間	「抗菌薬はじめの一步2016」 講師：外部講師（国立大学医学部教授）
移乗介助講習会	5/26, 27	研修医	37名	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義、実習を交えて講習 講師：理学療法士
感染防止技術講習会	5/30, 31 6/8～10	医師 看護師 コメディカル	487名	1.5時間	N95マスクフィットテスト研修 講師：感染制御担当部長 研修協力：該当メーカー
血液浄化器研修	5/31	臨床工学技士	9名	1時間	血液浄化器の取り扱いについて 講師：外部講師（該当メーカー）
急変予兆	6/2, 7/7, 8/4, 12/1	2年目看護師 員	のべ61名	1日	急変予兆の概念を理解し、呼吸・循環・意識に関するフィジカルアセスメントを習得する アセスメントに基づいた急変予兆の発見と報告を演習で体験する 講師：救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児ケア認定看護師、小児救急看護認定看護師
平成28年度《第1回目》 放射線業務（診療）従事者講習会	6/3	放射線業務 〈診療〉従事職員 （ガラス バッジ装着 職員）	80名	2.0時間	1. 放射線の人体に及ぼす影響 2. 放射線の管理（放射線の基礎と身を守るために） 3. RI検査における防護と管理について 4. 放射線治療装置、血液照射装置のしくみと安全な取扱い 5. 放射線障害予防に関する法令とtopics 講師：診療放射線技師
がん化学療法看護 CVポート穿刺看護育成研修	6/8	院内看護職員	12名	1.5時間	癌化学療法に必要な基礎知識・技術として「CVポートの穿刺方法・管理方法」について習得する 講師：消化器病センター外科医師、がん化学療法看護認定看護師
MR装置磁場体験	6/13, 6/20, 7/6, 12/12, 12/19, 1/11, 1/19	病院職員	88名	各回 1時間	講義：MRI装置の磁場と磁場の危険性 金属持込体験：MRI検査室でハサミが飛ぶ 講師：診療放射線技師
心肺蘇生講習会 （非医療職向け）	6/16, 10/20, 2/16	医療職以外の職員	32名	各1.5時間	人形を用い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方）を学ぶ。 講師：高度救命救急センター医師
移乗介助講習会	6/23, 30	全職員	31名	1時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義、実習を交えて講習。 講師：理学療法士
不整脈デバイス取扱研修	6/28, 7/7	医師 看護師 臨床工学技士	48名	1時間	S-ICDの基礎と取り扱い方法について 講師：外部講師（該当メーカー）

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
補助循環装置取扱い研修	7/1, 7/26	看護師 臨床工学技士	22名	1時間	補助循環装置(PCPS)の取扱いと注意点 講師：臨床工学技士、外部講師(該当メーカー)
個人情報と守秘義務	7/7	看護助手	55名	45分	病院における個人情報の取り扱いと医療チームの一員として患者データの取り扱いに関する守秘義務に重要性を理解する 講義+グループワーク形式 講義：業務担当看護師長
一般撮影RIS停止時シミュレーション	7/12, 2/27	診療放射線技師	39名	1.0時間	RISシステムトラブル時のマニュアルを読み合わせ、RIS停止時を想定したシミュレーションを実施、問題点の検証 講師：診療放射線技師
医療用ポンプ新規導入時研修	7/12~7/29	看護師 臨床工学技士	48名	各1時間	新規導入医療用ポンプの取り扱い方法と注意点について 講師：臨床工学技士
(一部公開講座) 看護職員研修 呼吸ケアシリーズ	7/13, 9/6	院内看護職員 横浜市内看護職員	のべ61名	各1.5時間	人工呼吸管理及びケアに必要な基本的な知識を習得し、実践に役立てる(全4回) 1回目 フィジカルアセスメントに必要な解剖生理の基本とフィジカルアセスメントの実際 講師：急性重症患者看護専門看護師 2回目 呼吸ケアに必要な看護技術：体位排痰法 講師：救急看護認定看護師 第3回：呼吸ケアに必要な看護技術：口腔粘膜・嚥下の評価と口腔ケア 講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師 第4回：一般病棟で求められる人工呼吸器ケアの基本 講師：高度救命救急センター医師
看護技術研修 CV管理コース 「講義・演習・テスト」	7/14, 9/7, 11/10, 12/8, 1/19	院内看護職員	74名	各2時間	CV管理に関する原理原則をふまえ、安全な看護技術へつなげる。 事前課題：1. 看護技術と責任、2. CVに関連する解剖、生理、合併症、副作用、リスク、3. CVカテーテル・ラインの種類と構造、4. シュアプラグの構造と使用方法について、5. インシデント、アクシデントの早期発見、早期対応、について 演習：指導者によるデモンストレーション後、手順に従って演習を実施 テスト：講義終了後、筆記テスト実施。演習終了後実技テスト実施 講師：教育・実習担当師長、他師長
血管確保指導者研修	7/27, 8/1, 8/7	院内看護職員	7/27：25名 8/1：27名 8/7：24名	各1.5時間	血管確保に関する技術指導者として、原理原則、リスクを理解し安全に実施できる看護師を育成するための基礎知識を習得する 講師：業務担当師長 他
地域連携研修会 感染症フォーラム	7/27	全職員、 院外医療従事者	40名(院内28名、院外12名)	1.5時間	「症例から学ぶ感染症診療」 講師：外部講師(国立大学医学部教授)
BLS講習会 インストラクターフォローアップ	8/4, 11/4	院内看護職員	3名	各1.0時間	院内BLSインストラクターとしての知識・技術の維持、向上を図り、適切な指導を実施するためのシミュレーション学習 講師：小児救急看護認定看護師、救急看護認定看護師
看護助手研修：医療安全	9/1	看護助手	61名	45分	看護助手業務にまつわるインシデントの共有を図り、医療における安全管理の考え方について理解する 講師：安全管理担当師長

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
新採用フォローアップ研修 ～半年後～	9/16, 10/7	新採用 看護職員	9/16: 39名 10/7: 42名	各3時間	医薬品について正しい知識やリスクを理解する。 医療安全管理について再確認し、自己の課題を認知する。 リーダーシップ・メンバーシップ行動の観点からストレスマネジメントについて考察する 安全な看護技術の習得: CVカテーテルの取り扱いに関する基礎知識 研修受講を通して、今後の自己のあり方、具体的行動を想起し記述する。 講師: 薬剤部担当係長、薬剤師、安全管理担当師長、治験担当師長、精神看護専門看護師
救命救急 移乗介助講習会	9/20, 10/4	救命ICU看護師	33名	各1.0時間	ベッド・車いす間の移乗動作介助方法を講義、実習を交えて講習。 講師: 理学療法士
地域連携研修会 感染症フォーラム	9/28	全職員、 院外医療従事者	52名(院内44名 院外8名)	1.5時間	「研修医からのコンサルト～専門医のアプローチ」 講師: 外部講師(国立大学医学部教授)
リーダーナースの急変予兆・ACLS	10/6, 1/5	院内 看護職員	のべ 33名	1日 × 2回	講義、シミュレーション 急変対応すぐやる技術: オンライン配信視聴8月 オンライン: 基礎修得コース 講師: 救急看護認定看護師、小児救急認定看護師、集中ケア認定看護師、新生児集中ケア認定看護師
平成28年度《第1回》 放射線関連装置の医療機器安全取扱研修	10/7	診療放射線 技師 放射線部医師 放射線科医師 初寮室・放射線部・内視鏡室看護師	48名	2.0時間	1. 医療機器の安全確保について 講師: 装置備品管理委員長 2. シリンジポンプの安全取扱い 講師: 臨床工学技士 3. リニアック装置・RALS装置の安全取扱い 講師: 放射線治療担当 4. 医療機器の公正競争規約及び立会に関する基準について 講師: 装置備品管理委員会顧問
地震時の放射線漏洩点検研修 (RALS装置)	10/18, 10/20	診療放射線 技師 新採用・異動職員	19名	各0.5時間	1. 地震発生時の放射線漏洩点検方法と原子力規制庁への報告方法 講師: 安全推進環境委員会 2. 線量計の取り扱いと点検手順 講師: 安全推進環境委員会
感染リンクナース 委員会勉強会	11/2	リンクナース	30名	55分	「冬季に流行する感染症について」講義と演習 講師: 感染制御担当師長
清掃委託研修	11/16	委託職員	50名	0.5時間	「感染対策の基本」 講師: 感染制御担当師長
看護技術: 血管確保	11/17, 12/9, 1/20, 2/16	新採用 看護職員	のべ 79名	3.5時間×4 回	基本的知識の講義、シミュレーターでの実技演習 講師: 業務担当師長、血管確保指導者研修受講看護師
平成28年度《第2回目》 放射線業務(診療)従事者講習会	11/29	放射線業務 (診療)従事職員 (ガラス バッジ装着 職員)	61名	2.0時間	1. 講習会の開催根拠と必要性について(法令) 講師: 放射線取扱主任者 2. 公開講演『福島第一原発事故から約5年経過後』 講師: 外部講師(原子力発電所保守管理メーカー) 3. 公開講演『診断参考レベルの現状と運用マニュアルの活用』 講師: 外部講師(他病院医師) 4. 放射線治療装置と血液照射装置の安全取扱 講師: 放射線部・放射線管理委員会
地域連携研修会 感染症フォーラム	11/30	全職員、 院外医療従事者	46人(院内30人 院外16人)	1.5時間	感染対策の重要ポイント～ワクチンを中心に～ 講師: 外部講師(他病院感染症医師)

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容および講師
臥位ブッキー台における 安全な患者引き起こし介助訓練	12/1	診療放射線 技師 (一般撮影 室担当)	11名	1.0時間	1. 安全な患者引き起こし方法と注意点の解説 2. 臥位ブッキー台を用いた介助訓練 講師：リハビリテーション部理学療法士
地域連携研修会 感染症フォーラム	1/25	全職員、 院外医療従 事者	63人（院内46 人 院外17人）	1.5時間	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌で変わる院内感染対策 講師：外部講師（国立大学医学部教授）
看護助手研修	2/2	看護助手	46名	40分	「針刺し曝露対策」 講師：感染制御担当師長
平成28年度《第2回》 放射線関連装置の医療機器安全取扱研修	3/3	診療放射線 技師 放射線部医 師 放射線科医 師 初寮室・放 射線部・内 視鏡室看護 師	27名	2.0時間	1. 医療機器の安全確保について 講師：装置・備品管理委員長 2. 輸液ポンプの安全取扱い 講師：臨床工学技士 3. リニアック装置・RALS装置の安全取扱い 講師：放射線治療担当 4. 関係法令・薬事法改正のポイント 講師：装置備品管理委員会顧問
不整脈デバイス取扱研修	3/7	看護師	5名	1.0時間	ペースメーカー・S-ICDの基礎と取り扱い方法について 講師：臨床工学技士
除細動器取扱研修	3/7, 3/16/ 3/21	看護師	38名	各0.5時間	除細動器の取り扱いと注意点について 講師：臨床工学技士
X線TV装置の安全取扱研修（導入時研 修）	3/16	診療放射線 技師	28名	1.0時間	1. 導入時のコンセプト（ユーザー） 講師：診療放射線技師 2. 安全な利用と取り扱い ① X線TV装置 ② Ba自動注入器 ③ 無影灯 講師：外部講師（該当メーカー）
地域連携研修会 感染症フォーラム	3/22	全職員、 院外医療従 事者	53人（院内38 人 院外15人）	1.5時間	感染症診療のロジック2017 講師：外部講師（他病院感染症医師）